

工事仕様書
I 工事概要
1. 工事場所
2. 敷地面積
3. 工事建物の概要
4. 工事種別
5. 工事内容
II 建築工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様

表目
1. 一般共通事項
2. 工事実績情報サービス
3. 養生材の処理等
4. 品質計画
5. 電気保安技術者
6. 設計GL、BM
7. 既存部分等への処置
8. 別契約の関連工事
9. 材料の品質等
10. 環境への配慮

11. 化学物質の濃度測定
12. 技能士
13. 工事写真等
14. 完成図等
15. 文化財その他の埋蔵物
16. 火災保険等
17. 監督員事務所
18. 仮設工事

3 土工事
4 地業工事
5 鉄筋工事
6 土留工事
7 鉄骨工事
8 鉄骨工事
9 鉄骨工事
10 鉄骨工事
11 鉄骨工事
12 鉄骨工事
13 鉄骨工事
14 鉄骨工事
15 鉄骨工事
16 鉄骨工事
17 鉄骨工事
18 鉄骨工事
19 鉄骨工事
20 鉄骨工事

5. 杭頭の補強方法
6. 帯筋
7. 壁開口部の補強
8. 土間スラブ打継ぎ補強
9. 土間コンクリート補強
10. 梁貫通孔
11. 圧接完了後の試験
12. コンクリート工事
13. セメントの種類
14. 骨材の種類
15. 混和材料
16. 打継ぎ
17. 層中コンクリート
18. 型枠
19. 無筋コンクリート
20. 打継止水材
21. コンクリートの強度試験
22. 鉄骨の製作工場
23. 施工管理技術者
24. 鋼材の種類
25. 高力ボルト
26. 普通ボルト

7 鉄骨工事
6. アンカーボルト
7. ターンバックル
8. 床構造用のデッキプレート
9. スクラップエンドタブの切除
10. 柱座均しモルタル
11. 工作一般
12. 溶接接合
13. 溶接部の試験
14. 錆止め塗装
15. 耐火保護
16. 鉄の垂れ止め

9 防水工事
1. アスファルト防水
2. 改質アスファルトシート防水
3. 合成高分子ルーフィングシート防水

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
1. 補強コンクリートブロック造
2. コンクリートブロック積層及び壁
3. ALCパネル
4. 押出成形セメント板

10 石工事
1. 施工
2. 石材等
3. 外壁湿式工法
4. 内壁空積工法
5. 乾式工法
6. 床及び階段の石張り
7. アーチ、上り裏等の石張り
8. 笠木、甲板等の石張り

11 タイル工事
1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
2. タイル張り
3. タイルの種類
4. 標準的な曲がりの設物は一体成形とする
5. 目直し工法

12 木工事
1. 表面仕上げ
2. 製材
3. 造作用集材
4. 造作用単板積層材
5. 合板等

12 木工事
5. 合板等 (続き)
・下地用構造用合板
・「合板の日本農林規格」による化粧り構造用合板
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
・パーティクルボード
6. 接着剤
7. 防蟻・防蟻

14 金属工事
1. ステンレス表仕上げ
2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
3. 鉄鋼の亜鉛めっき
4. 軽量鉄骨天井下地
5. 軽量鉄骨地下地
6. 金属成形板張り
7. アルミニウム製塗木
8. 手すり・タラップ

13 屋根及び土工
1. 長尺金属板葺
2. 折板葺
3. とい

15 左官工事
1. モルタル塗り
2. セルフレベリング材塗り
3. ラス系下地
4. 仕上塗材仕上げ

16 建築工
5. 下地処理
6. マステック塗料塗り
7. せつこうプラスター塗り
8. ロックウール吹付け
9. しっくい塗り
10. こまい壁塗り
11. 防犯建築物
12. アルミニウム製建具
3. 網戸等
4. 樹脂製建具

5. 鋼製建具
6. 鋼製軽量建具
7. ステンレス製建具
8. 木製建具
9. 建具用金物
10. 自動ドア開閉装置
11. 自閉式上吊り引閉装置
12. 重量シャッター
13. 軽量シャッター
14. オーバーヘッドドア
15. ガラス・ガラスブロック
16. ガラス留め材
17. ガラス用フィルム
18. 衝突防止表示
19. 鏡箱



Table with 5 columns: 材種, 形式, 操作方法, 高さ(mm), 固定方法, 備考. Includes items like 29. 旗竿, 30. 旗竿受金物, 31. 敷地境界線, 32. 掲示板, 33. 耐震スリット, 34. 防煙垂れ壁, 35. 止水板, 36. エキスパンションジョイント金物.

Table with 5 columns: 種別, 材質, 高さ(mm), 備考. Includes items like 3. アスファルト舗装, 4. コンクリート舗装, 5. カラー舗装, 6. 透水性アスファルト舗装, 7. 排水性アスファルト舗装, 8. ブロック系舗装, 9. 砂利敷き, 10. 車止め, 11. 路面標示用塗料.

Table with 5 columns: 材種, クリアランス(mm), 耐火性能, 備考. Includes items like 21. 排水工, 2. 側溝、排水樹等, 3. 舗装製ふた, 4. グレーテング, 5. 街きよ、緑石、側溝, 6. 埋戻し材料.

Table with 5 columns: 種別, 工法, 有効土層の厚さ(cm), 整備範囲, 土壌改良材. Includes items like 1. 植栽地の確認, 2. 植栽基盤の整備, 3. 植込み用土, 4. 土壌改良材.

Table with 5 columns: 材種, 形式, 操作方法, 高さ(mm), 固定方法, 備考. Includes items like 1. 路床, 2. 路盤.

Table with 5 columns: 種別, 工法, 有効土層の厚さ(cm), 整備範囲, 土壌改良材. Includes items like 3. 植込み用土, 4. 土壌改良材.

Table with 5 columns: 種別, 材質, 高さ(mm), 備考. Includes items like 5. 樹木, 6. 支柱, 7. 幹巻き用材料, 8. 芝張り, 9. 吹付けは理, 10. 地被類, 11. 屋上緑化.

Table with 5 columns: 種別, 工法, 有効土層の厚さ(cm), 整備範囲, 土壌改良材. Includes items like 5. 樹木, 6. 支柱, 7. 幹巻き用材料, 8. 芝張り, 9. 吹付けは理, 10. 地被類, 11. 屋上緑化.

Table with 5 columns: 図面名称, 縮尺, 建築士法第20条第1項に基づく表示, No. Includes various technical specifications and standards.

Main table containing project details, specifications, and safety measures. It is organized into columns for project information, general construction items, and specific construction items. It includes various tables for material lists, safety checklists, and compliance requirements.

電気設備工事仕様書

1. 工事概要
1.1 工事場所
1.2 建物概要
建物名称, 構造, 階数, 延床面積, 消防法令別表第一, 備考

3. 工事種目
建築物及び屋外工事種目
動力設備, 電灯設備, 雷保護設備, 受変電設備, 電力貯蔵設備, 発電設備, 電話設備, 構内交換設備, 構内情報通信設備, 防犯・入退室管理設備, 拡声設備, 映像・音響設備, 情報表示設備, 誘導支援設備, テレビ共同受信設備, 監視カメラ設備, 自動火災報知設備, 自動閉鎖設備, ガス漏れ火災警報設備, 中央監視制御設備, 昇降機設備, 構内配電線路, 構内通信線路

2. 工事仕様
2.1 一般仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)」(平成31年版)
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2.2 特記仕様
章は●印、項目は番号に○印、特記項目は◎印をそれぞれつけたものを適用する。

章 項目 特記
1 機材等
2 機材の品質・性能証明
3 電気工作物の種類
4 電気保安技術者
5 電気工事士
6 工事用電力・水
7 工事用仮設物
8 監督員事務所
9 足場その他
10 工事写真等
11 完成図書等
12 施工計画書
13 原形復旧
14 撤去後の補修
15 他工事との取合い
16 発生材の処理
17 アスベスト含有調査について
18 再用機器
19 残土処理

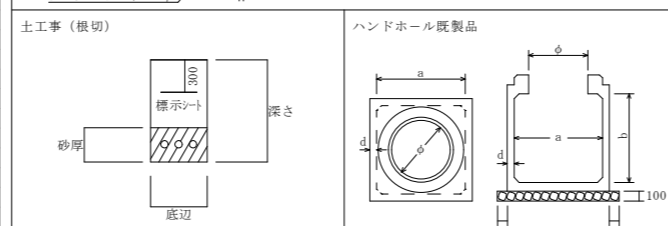
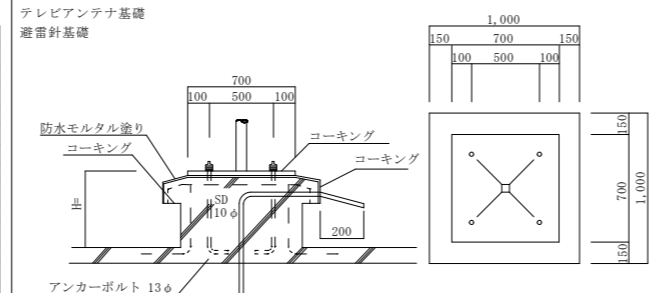
20 配管・配線等
21 支持金物その他
22 配線プレート等
23 防火・耐燃性等
24 断熱結露防止
25 身体障害者のための国際シンボルマーク
26 耐震措置
27 施工調査
28 既存躯体への穿孔
1 設備概要
2 機器への接続
3 電動機等の接地
4 電動機等の力率の改善
5 保護継電器
6 その他
1 照明器具の接地
2 配線器具類
3 予備配管
4 その他
1 受雷部
2 避雷導体
3 接地極
4 その他
1 盤形式
2 変圧器の種類
3 基礎
4 配線ビット及び蓋
5 接地工事
6 消火器
7 機器詳細
1 形式
2 蓄電池
3 基礎
4 消火器
5 機器詳細

発電設備
1 発電機
2 原動機
3 ラジエーター
4 燃焼料槽
5 基礎
6 配線ビット及び蓋
7 機器吊上用フック
8 消火器
9 機器詳細
1 交換機の種類
2 回線数
3 電話機の種類
4 配線
5 機器詳細
1 増幅器の種類
2 機器詳細
1 出退表示装置
2 時刻表示装置
3 その他
1 通話方式
2 形状
3 その他
1 受信方式
2 支持ポール
3 電界強度測定
4 機器詳細
1 自動火災報知装置
2 住戸用自動火災報知装置
3 非常警報装置
4 その他
1 自動閉鎖装置
2 その他
1 ガス漏れ火災警報装置
2 その他
1 昇降機
2 用途
3 高調波対策
4 機器詳細
1 地中線式の余長
2 装柱機材
3 外灯ポール
4 外灯ポール
5 外灯ポール
6 その他
1 地中線式の余長
2 地中線埋設表示
3 その他

年度, 設計年月, 工事名, 大分県土木建築部施設整備課, 図面名称, 特記仕様書(1), 建築士法第20条第1項に基づく表示, No.

1 機器の標準取付高さは、図面に特記がない場合は、下表による。

機器	測点	取付高 (mm)	時計	測点	取付高 (mm)
共電力	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	壁掛形視時計	床上～中心
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200	子時計	床上～中心
電	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	時報子時計	床上～中心
	住戸用分電盤	床上～下端	2,000	壁掛形スピーカー	床上～中心
	スイッチ	床上～中心	1,300	壁付アンテナター	床上～中心
	スイッチ(住宅)	床上～中心	1,200	表示盤	床上～中心
	スイッチ(多機能化)	床上～中心	1,100	壁付発信器	床上～中心
	壁付コンセント(一般)	床上～中心	300	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心
	壁付コンセント(和室)	床上～中心	200	壁付押ボタン(一般)	床上～中心
	壁付コンセント(台所)	台上～中心	200	ビデオ観機	床上～中心
	壁付コンセント(土間)	床上～中心	800～1,300	ビデオ観機(住宅)	床上～中心
	壁付コンセント(車椅子用)	床上～中心	900	壁付押ボタン(多機能化)	床上～中心
灯	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100～2,300	壁付復帰ボタン(多機能化)	床上～中心
	ブラケット(踊場)	床上～中心	2,000～2,500	壁付復帰ボタン(住宅)	床上～中心
	ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150	壁付表示灯(多機能化)	床上～中心
	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)	壁付アラーム(一般)	床上～中心
	開閉器箱	床上～中心	1,500	壁付アラーム(和室)	床上～中心
	操作スイッチ	床上～中心	1,300	テレビ端子・直列ユニット(一般)	床上～中心
	警報盤	床上～中心	1,800	テレビ端子・直列ユニット(和室)	床上～中心
	試験用接続端子箱(屋内)	床上～下端	800	機器収納箱	天井下～上端
	試験用接続端子箱(屋外)	床上～下端	800	受信機・前受信機・運動制御器	床上～操作部
	接地端子箱	床上～中心	500	機器収納箱	床上～中心
雷保護	給油口ボックス	地上～給油口	1,000	発信機	床上～中心
	端子盤(室内)	床上～下端	300	警報ベル	床上～中心
	集合保安器箱	天井下～上端	200	表示灯	床上～中心
	壁付アラーム(一般)	床上～中心	300	ガス検知器(都市ガス用)	天井面～中心
	壁付アラーム(和室)	床上～中心	200	ガス検知器(液化石油ガス)	天井面～中心
	壁付電話機(一般)	床上～中心	1,300	接地端子箱	地上～中心
	壁付電話機(住宅)	床上～中心	1,200		
	避雷電線				
	避雷針				
	避雷針				



記号	底辺	深さ	砂厚	備考
	300	450	250	
	400	450	250	
	500	450	250	
	600	450	250	
	700	450	250	
	800	450	250	
	300	750	250	
	400	750	250	
	500	750	250	
	600	750	250	
	700	750	250	
	800	750	250	
	300	950	250	
	400	950	250	
	500	950	250	
	600	950	250	
	700	950	250	
	800	950	250	
	300	1050	250	
	400	1050	250	
	500	1050	250	
	600	1050	250	
	700	1050	250	
	800	1050	250	
	300	1350	250	
	400	1350	250	
	500	1350	250	
	600	1350	250	
	700	1350	250	
	800	1350	250	

(注) (天井高) × 0.8～0.9は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。  
上記取り付け高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

2 施工図等の取扱い  
施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

3 プレート類の刻印

黒文字	電灯	放送	T	V
	動力	表示	火	報
	電話	L A N	防	犯
	時計	インターホン	電	極
	防火戸	警報	ガ	ス

(大きさは7mmとする)

4 接地極  
接地極の材料は、下表による。(EBは、D=14、W=40、L=1,500)  
(測定用EBは、D=10、W=30、L=1,500)

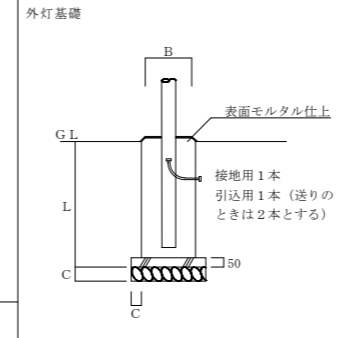
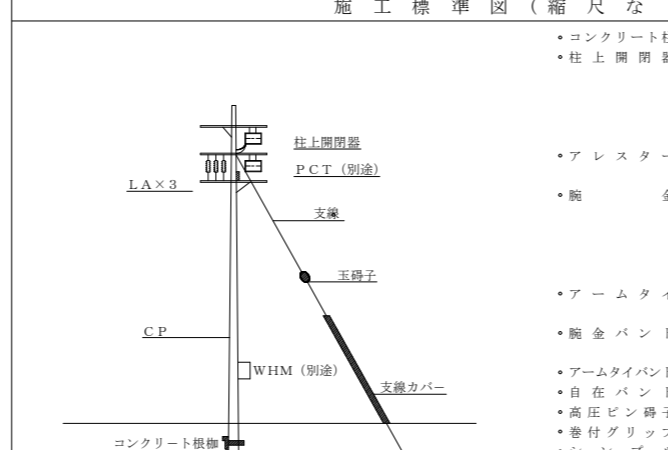
電	接地の種類	記号	接地極	
			規格	数量
力	• 共同	E <sub>A,C,D</sub>	E P-0.9	1枚以上
	• A種(第1種)	E <sub>A</sub>	EB	2本以上
	• B種(第2種)	E <sub>B</sub>	EB	6本以上
	• D種(第3種)	E <sub>D</sub>	EB	2本以上
	• C種(特別第3種)(10Ω以下)	E <sub>C</sub>	EB	1本以上
	• 漏電遮断器回路用	E <sub>ELCB</sub>	EB	6本以上
通信情報	• 構内交換機用	E <sub>V</sub>	E P-0.9	1枚以上
	• 直流電源装置(場極)	E <sub>V</sub>	EB	2本以上
	• 保安用(10Ω以下)	E <sub>SA</sub>	EB	6本以上
	• 保安用(100Ω以下)	E <sub>SA</sub>	EB	1本以上
	• 拡声増幅器(100Ω以下)	E <sub>SA</sub>	EB	1本以上
	• 電話引込口の保安器用(100Ω以下)	E <sub>LA</sub>	EB	1本以上
雷保護	• 雷保護設備	E <sub>LA</sub>	E P-0.6	2枚
	• 高圧避雷器	E <sub>LH</sub>	EB	6本以上
	• 測定用	E <sub>O</sub>	EB	1本以上
	•			

5 配線記号等

記号	名称	記号	名称
———	天井いんべい・ころがし	———	コンクリート貫通部分
-----	床いんべい配線	(キ19)	既設配管(E19)
-----	露出配線	(室名)	直天井の室を表す
——— (PF16)	空配管(PF16)	———	配線保護部分
——— (PF16)	EM-IE1.6×2	——— F2	EM-EEF1.6-2C 天井内ころがし
——— (PF16)	EM-IE1.6×3	( # )	F3 EM-EEF1.6-3C #
——— (PF16)	EM-IE1.6×4	( # )	F4 EM-EEF1.6-2C×2 #
——— (PF16)	EM-IE2.0×2E1.6	( # )	2F2 EM-EEF2.0-2C #
——— 2C(PF16)	EM-AE1.2-2C	——— 2C	EM-AE1.2-2C 天井内ころがし
——— 3C(PF16)	EM-AE1.2-3C	( # )	3C EM-AE1.2-3C #
——— 4C(PF16)	EM-AE1.2-4C	( # )	4C EM-AE1.2-4C #
——— H2C(PF16)	EM-HP1.2-2C	( # )	

1 防水型 クサリ付  
2 県マーク及び文字入り  
3 中荷重 [R2K] : 破壊荷重 20[kN] 以上 (鋼鉄)  
4 重荷重 [R8K] : 破壊荷重 80[kN] 以上 (タダ鉄)

※ ハンドホールの構造体標準厚さ(d)は参考値とする。ただし、強度計算上必要な強度が確保されていること。



記号	器種	基礎の寸法		
		B	L	C
	T-3.5	400×400 (500φ)	1100	100
	T-4	600×600 (700φ)	1300	100
	T-4.5			
	T-5			
	T-5.5			

型	荷重	寸法			
		a	b	d	φ
• 500 I	中重	500	600	50	450
• 600 I	中重	600	600	60	
• 600 II	中重	600	900	60	
• 800 I	中重	800	600	60	
• 800 II	中重	800	900	60	
• 800 III	中重	800	1200	60	
• 900 I	中重	900	600	70	600
• 900 II	中重	900	900	70	
• 900 III	中重	900	1200	70	
• 1000 I	中重	1000	600	80	
• 1000 II	中重	1000	900	80	
• 1000 III	中重	1000	1200	80	
• 1200 I	中重	1200	600	100	
• 1200 II	中重	1200	900	100	
• 1200 III	中重	1200	1200	100	



機械設備工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

2. 建物概要

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延べ面積 (㎡), 消防法施行令別表第一, 備考

3. 工事種目 (●印を付けたものを適用する)

Table with 2 columns: 建物別及び屋外工事種目, 工事種別

4. 設備概要 (本工程における、工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。○印を付けたものが該当する。なお、改修の場合は既存概要を示す。)

Table with 2 columns: 方式及び種別, 設備概要

II 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)、本特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。)

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工程に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

Main specification table with 3 columns: 章, 項目, 特記事項

25 耐震措置

耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版 (独立行政法人建築研究所監修)」による。

(1) 機器の据付及び取り付け  
設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

Table showing design standard horizontal seismic intensity for various equipment types and building levels.

注1) 上層階・中間階の定義は次のとおりとする。  
上層階とは、 2~6階建の場合は最上階 7~9階建の場合は上層2階  
10~12階建の場合は上層3階 13階建以上の場合は上層4階  
中間階とは、 地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階。

注2) 機器種類の欄の「機器」は、防震設置機器、水槽類以外の機器を示す。  
重要機器とは、以下の機器とする。  
・ ボイラー ・ 冷凍機 ・ 冷水機 ・ 冷却塔 ・ 中央監視装置  
・ 空調和機 ( ・ ユニット形 ・ コンパクト形 ・ パッケージ形 )  
・ 水槽類 ( ・ 受水タンク ・ 高置タンク ・ )  
・ 消火設備機器 ・ 排煙設備機器

(2) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とする。

26 配管

(1) 建物導入部の変位吸収方法は、標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) による。

(2) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要 (検査の種類: 抜取率 %)

(3) ステンレス配管施工  
1) コンクリート壁・床への埋め込み、スリーブ貫通部及びその他躯体との絶縁箇所には、プラスチックテープを1/2重ね1回巻きを施す。  
2) 保温のアルミ、ネット、巻き線、菊巻等が直接接触しないように施工する。  
3) 地中埋設管は、管を土壌に接触させないように施工する。  
4) 地中埋設から地上あるいはビット等に至る管には、出た直近に絶縁フランジを設ける。  
5) ステンレス管に使用する60A以上の弁はステンレス鋼弁とする。

27 地中埋設等

地中埋設配管 (排水管を除く)  
(1) 地中埋設機 ・ 要 ( ・ 給水管 ・ ガス管 ・ ) ・ 不要  
(2) 埋設表示テープ ・ 要 ( ・ 給水管 ・ ガス管 ・ ) ・ 不要  
鋼管についてはポリエチレン製ダブル、樹脂管についてはアルミ製ダブルとする。

28 はつり

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。既存躯体に穿孔する場合は、原則として事前に金属探査等を行うこと。

29 塗装

次の範囲内の裸の亜鉛鉄板、配管 (亜鉛メッキされたもの)、吊りボルトは塗装を行う。

30 保温

標準仕様書第2編によるほか、図面に特記のない場合は、下記による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。  
・ 衛生配管の保温材の種類 ( ○ 給水管 ◎ 給湯管 △ 排水管 □ )

Table for insulation material types for sanitary piping.

Table for insulation material types for air conditioning piping.

Table for insulation material types for ductwork.

・ 屋外露出部 (給水管、消火管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレン管、弁類を含む) は防凍保温を行う。その仕様は標準仕様書第2編3.1.4及び3.1.5とする。厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。

Table for insulation exterior of piping.

Table for insulation exterior of ductwork.

31 電線類

電線及びEMケーブルは、標準仕様書 第4編1.5.1 表4.1.11による。

32 吊り及び支持金物

( ・ 槽内 ・ 屋外 ・ 地中 ・ ) の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製 (SUS304) とする。

33 他工事との取り合い

図面に特記なき場合は、No. 「工事区分表」による。

34 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

Bottom summary table with columns: 年度, 設計年月, 工事名, 図面名称, 縮尺, 建築士法第20条第1項に基づく表示, No.

Main table with columns for specifications (項目), special notes (特記事項), and equipment types (浄化槽設備, 換気設備, etc.). It includes detailed technical requirements for various building systems.

Table titled '凡例' (Legend) listing symbols and abbreviations for piping and equipment, such as '給水管(上水)', '排水管(下水)', and 'ガス栓'.

- ※ 特記事項 (Special Notes) list 1 through 6, providing additional specifications or conditions for the equipment and materials.

Summary table at the bottom with columns for '年度' (Year), '設計年月' (Design Date), '工事名' (Project Name), '図面名称' (Drawing Name), '縮尺' (Scale), '表示' (Representation), and 'No.' (Number).